

住みやすい、安心安全な町 大磯

大磯町を住みやすく、更に良い町にするには
皆様の力が必要です。

- ▶ 町民優先(ファースト)の町政を目指します。
- ▶ あたり前の事をあたり前にやる町政を目指します。
- ▶ やれば出来る、やりましょう!

大磯町を更に良い町にするためには
皆で一步でも二歩でも前進していきましょう。

プロフィール

- ・平塚江南高校卒業
- ・横浜国立大学商学部卒業
- ・大磯町観光協会元理事
- ・NPO法人 大きなおうち監事



(無所属)
今井 茂 69歳

三沢たつおは大磯の未来を考えます

ハンディを負った私自身が改めて感じた、このまちの、人・自然の美しさ。
まちの宝を未来へつなげるための活動を、これからも続けます。



三沢 たつお

五つの政策

- 人に優しいまちづくり**
高齢者、幼児、ハンディキャップのある方の目線に立ったまちづくりを進めます。
- 駅前路の路面の補修**
町長時代に実現した大磯駅バリアフリー化に引き続き、老朽化の進む駅前広場の道路補修を推進。
- 空き家対策**
近年増加している空き家解消のため、持ち主と利用希望者の橋渡し機能を強化します。
- みなとまちづくり**
大磯の核である港を中心とした町全体の活性化を図ります。
- 伝統行事の保全**
御船祭りや左義長、国府町の伝統行事などを次世代へ伝えます。

◆三沢たつお 略歴
昭和52年 東京芸術大学卒業。平成3年 大磯町議会議員初当選。平成14年 大磯町長就任。
平成19年 大磯町議会議員。66歳。

駅前整備より福祉・教育優先の大磯町へ



日本共産党
鈴木京子

税金のムダづかいやめさせて

- 高い国民健康保険の負担軽減
- 子どもの医療費無料化は、所得制限をなくし、中学校卒業まで拡充
- 介護サービスの充実、保険料・利用料の負担軽減
- 中学校給食の早期実現

町の役割は「住民福祉の増進」です。ハコモノづくりや観光優先ではなく、教育と福祉を守り、充実させるまちづくりをみなさんと一緒に続けていきたいと思っています。そのために引き続き町議会を動かさせていただきます。

プロフィール=1954年鎌倉生まれ。大磯幼・小・中卒業。文化学院高等部美術科卒。パンクーパー市立美術学校(現エミリー・カー美術学校)2年課程修了。趣味: テニス、彫金、音楽、読書。PTA、新日本婦人の会、民主商工会などで活動。家族: 夫、義母を105歳まで自宅で介護。最期を看取る。

消費税10%中止を

- 高い国民健康保険の負担軽減
- 津波対策・防潮堤の改修を国・県の負担で
- 運転免許証返納世帯や交通不便地域の対策
- インシシ対策の推進
- 自治基本条例は住民の声を生かす運用を

あなたの声を大切にします

4期16年・実現しました!

- 小・中学校すべての普通教室にエアコン設置
- 小児医療費の助成対象を小学校卒業までに拡大
- 不妊治療費、不育症治療費の公費助成
- 大磯駅のエレベーター・エスカレーター設置を推進
- 町庁舎駐車場内に妊産婦、内部障がい者専用駐車スペースを設置
- 期日前投票の宣誓書を投票所入場券の裏面に添付

めざします!

- 小児医療費助成を中学校卒業まで拡大
- 防災対策の総点検(避難経路、要支援者対策など)
- 防災リーダーの育成(女性や若者の参画推進)
- SNSを活用した相談体制の強化、教育研究所の相談所の充実
- SDGs(国連が提唱し、国や自治体を取り組むべき持続可能な開発目標)の達成を支援

おくとつ勝子 プロフィール
●1944年 大磯生まれ
●1962年 神奈川県立大磯高校卒業
●2006年 創価大学教育学部卒業(通信教育部)



おくとつ勝子 かつこ
公明党公認



川中寛之

山河の美しい大磯を介護問題ゼロの町に

私はこの町を高齢者になっても住みやすい町にします。豊かでやさしい福祉の町はすべての世代にとって住みやすい町だと言えます。30年間介護事業に携わってきた私には、介護の諸問題に対する具体的な解決策があります。大磯町の介護問題は、川中寛之にお任せください。

1955年 藤沢市に生れる(63歳)
國學院大学法学部法律学科卒業後、外資系製薬会社広報宣伝部をへて看護学校事務局長、有料老人ホーム施設長職務、米国カリフォルニア州オレンジ郡の高齢者施設で実地研修
原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会員 大磯町ナショナルトラスト会員
社団法人経営管理センター理事 ボランティアネットワーク21神奈川理事

育てる福祉

「全力」を注ぎます。

結果をだしました。

- ★竹内恵美子プロフィール
●1944年 大磯町生まれ
●1967年 大磯町役場勤務(石神台分庁舎長、国府小学校PTA副会長、大磯町立PTA学芸部長、創立大磯大磯PTA副会長等) ●1995年 消費生活センター長
●2003年 大磯町議会議員初当選 ●2007年 期日前投票推進委員会委員長 ●2015年 期日前投票推進委員会委員長
- ★竹内恵美子(63歳) 藤沢市に生れる。國學院大学法学部法律学科卒業後、外資系製薬会社広報宣伝部をへて看護学校事務局長、有料老人ホーム施設長職務、米国カリフォルニア州オレンジ郡の高齢者施設で実地研修。原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会員。大磯町ナショナルトラスト会員。社団法人経営管理センター理事。ボランティアネットワーク21神奈川理事。
- ★特別な支援制度を進めます。
★病後児保育事業(モリのアサギ)開設が実現。
★認知症早期発見、認知症ケアパスの作成及び認知症カフェの実現。
★「泉の池」水抜きを、外来種管理と連動させた環境改善が実現。
★運動公園北側駐車場の拡充(2.8台分のスペース増設が実現)。
★町民サービスの向上として、今日迄、培ってきた技術や経験を持つた定年退職者OB職員の新採用制度導入が実現。
- ★福祉対策支援新制度を進めます。
★特別な支援制度への対応など、消費者が困った時に対応できる相談窓口の設置など、相談体制の整備に向けて働きかけを進めています。
- ★子育て支援新制度を進めます。
★小児医療費助成対象を中学生までに拡大を町に働きかけます。
★学童保育の充実(午後5時までの延長)と、子どもたちの放課後の安心・安全な居場所づくりを強く進めます。
★食育は未来を創ります。地域産品の利用をした、中学校の食育は未来を創ります。地域産品の利用をした、中学校の食育は未来を創ります。地域産品の利用をした、中学校の食育は未来を創ります。
- ★高齢者対策の拡充を更に進めます。
★お年寄りが歩いて行ける地域に誰もが気軽に集える拠点(サロン)づくりを更に充実させます。
★高齢者の暮らしを支える、就労機会やいきがいづくりの場を更に進めます。
- ★認知症の早期発見・相談と介護者家族支援の仕組みを更に進めます。



町民派 無所属
竹内恵美子

大磯町民の幸せのために 私のめざすもの!

- ★ 年間20億円の観光関連予算を教育関連へシフト変更
→ 子育ての町、大磯へ。
- ★ シニア世代の生活の充実に、
→ 町の施設を開放・活用・創造。
- ★ 大磯海岸を生かし、
→ マリンスポーツ・音楽の広場・食の館への活用へ。



無所属
飯田修司

役場側に
原稿を依頼されていた方、
これから依頼される方、
退職を願いたい。

プロフィール
10代 大磯中学校卒業、平塚江南高校卒業
20代 明治大学文学部卒業、神奈川駅伝中郡代表
30代 大磯町観光協会理事、大磯町青少年指導員
40代 大磯小学校、中学校PTA正副会長
50代 消防団第11団分団長、左義長保存会会長
60代 平塚法人会監事、大磯支部長

皆様の声を町政にお届けいたします

- 高齢者ふれあいサロンの地区への設置**
高齢者の健康維持や増進、地域の連帯感の育成、孤独感の解消などには高齢者が気軽に自由に行ける場所が自宅付近に必要です。憩いの家や防災会館、空き家、空き店舗などが候補です。
- おしゃれてロマンあふれる街づくり**
大磯町は明治から昭和の時代の政治を支えた重要な人達が集った町です。これら町が辿った歴史的背景やほかの観光地との差別化をはかるため「古さと新しさが融合したおしゃれな町・歴史とロマンあふれる街」として街並みを整備してブランド化をはかっていきます。
- 藤曲大樹の主な町内活動**
西小磯東元区長、大磯中学校避難所運営委員会元会長、大磯町災害救援ボランティアの会長、ふれあい野菜クラブ(野菜100円販売)代表、地域交通推進の会(乗り合いタクシー運行推進)会員等、(大磯在住27年)
- 町と住民の協働をサポートします。**
近隣や地域の問題解決
近隣や地域の安心安全、環境保全等が生活の基本。地域の抱えている問題の解決をサポート致します。
- 子育てで少子化**
仕事と子育ての両立を支援するとともに地域内での育児などの推進により人口流失を防止して少子化による町の人口減少に歯止めをかけます。
- シニアへの支援**
シニアは資格や技能、知識、経験を多く持っています。役場や公営事業所での嘱託採用を促進し、それら技能などを役立たせることで業務の活性化が期待できます。また、知識・技能のレベルアップ、ノウハウの蓄積がはかれます。



無所属(ふじまがり おおき)
藤曲大樹

次の世代へつなぎたいものはいのちを大切に社会

大好きな大磯の緑と海辺、町の良さをつなげていくために議員になり16年。常に生活者の立場で町の課題に向き合い、多くのことを学ばせていただきました。町民の健やかで安心した生活を取り戻すために、行政の監視役として、これまで積み重ねてきた経験を役立ててまいります。

- 情報を公開し、町民が納得できる税金のつかいかたをチェックします。
- 教育・福祉を優先した、ひとにやさしいまちづくりを進めます。
- 太陽・緑・水に恵まれた大磯で、自然と共生し発展する社会をめざします。



【プロフィール】

小田原生まれ 函嶺白百合学園卒 東京歯科大学歯科衛生士専門学校(現東京歯科大学短期大学)卒
2003年から大磯町議会議員 現在4期目 議長・監査委員・農業委員会委員などを務める
(一般社団法人)大磯エネシフト理事 「福島の子どもたちとともに西湘の会」会員
E-MAIL : wata059@mh.scn-net.ne.jp WEB:http://watanabejunkoiso.wixsite.com/home



渡辺順子

無所属

行政の追認機関なら議会は shouldn't. 全ては町民本位であるべき!

議会が追認した結果、借金総額は181億円。町民一人当たり借金は57万円に。
◆明治150年記念大磯邸園では、公用地となったため、年間約4,000万円の固定資産税収入を失う。(旧吉田茂邸では年間約2,000万円を失った。)

◆大磯町立中学校2校自校式給食にする毎に毎年1億円の維持管理費が必要。二宮町は平成22年にセンター方式給食としたが、維持できず、9月からは民間に委託。何か町政が見当違いの方向へ進んでいる気がしてならない。

「子ども達のために」「未来のために」と称して、子ども達、未来に多額の借金はダメ!

「劇的人口減時代に借金を増やさない」が大磯町政の課題!

過大な施設建設を許さない! 加重な投資より町民満足度を増やすきめ細かい町政を。

経歴 昭和32年 大磯町生まれ 62歳 B型 ふたご座

昭和51年 3月 県立平塚江南高校卒業

昭和55年 学習院大学経済学部経営学科卒業、証券会社勤務を経て

平成11年 7月 大磯町議会議員初当選

平成15年 7月 大磯町監査委員

平成27年 7月 大磯町議会議員当選 4期目



しばさき 茂

検索

子や孫への借金ストップ!!

「身のたけにあった町政運営を、



吉川しげお

無所属

プロフィール

- 大磯町国府本郷生まれ
- 県立小田原高校・大学卒
- 法律事務所・学研勤務
- 吉川教育センター塾経営
- 小学校・中学校・県立高校PTA会長
- 柔道・剣道の少年育成ボランティア活動20年間
- 大磯町副町長
- 湘南マラソン大磯開催を実現
- 大磯町議会議員
- 現在議員活動中

- 高齢者対策の充実** 老後を圧迫する保険料・利用料等の負担の軽減を求めます。
- 税金の使い方を監視** 限られた財源の中で、町民目線で税金の使い方を監視します。
- 子や孫への借金ストップ** 町債残高が181億円になる。大人の責任として、子や孫への借金ストップ!!

心地よく、伸びやかに暮らす より豊かな大磯へ

つながり

皆さまと議会を身近にしたい!
町や議会で起きていることをすぐに発信します。子どもたちから高齢者まで誰もが議会を傍聴しやすいよう、改善に取り組みます。

自立

第一次産業を活性化したい!
町内の食料自給率の向上で『大磯を食べる』このブランド化に取り組みます。企業誘致を推進し自立した町を目指します。

こども

子どもたちを羽ばたかせたい!
学校外でも英語を話せる場づくりに取り組み、子どもたちを『大磯から世界』へ。待機児童ゼロにもしっかり取り組みます。

環境

大磯の豊かな自然を守りたい!
海・山を大切に思う皆さんのお気持を環境保全につなげます。自然資源を有効活用し、エネルギーの地産地消に取り組みます。

あそび

大人だって遊びたい!
歴史あるお祭り・町外に誇れる伝統行事を守りつつ大人も子どももみんなが楽しめるイベントで、地域を元気に盛り上げます!



鈴木たまよ

無所属

【プロフィール】
1963年 東京都西東京市生まれ
1984年 米国ペーパーデザイン大学在学中 外資系保険会社勤務
1996年 大磯町へ転入、英語塾経営
2000年 投資コンサルティング会社勤務
2013年 トルコ・イスタンブールへ移住
2018年 帰国、補欠選挙にて町議会議員初当選
家族：長男、猫2匹

町民の生活を第一に考えた暮らしを取り戻しましょう!

まずは、本当に子育てで選ばれる町にするために、

- ・中学生も保護者も納得の「中学校自校式給食」の確実な実施
- ・医療費助成の拡大
- ・安全な公園、遊び場の充実
- ・待機児童の解消
- ・小中学校の教育力の向上などに全力で取り組み、実現します。

プロフィール

岡山市足守に生まれ育つ
高校1年次ドイツへ交換留学
慶應義塾大学総合政策学部卒業
台町こども会会長・国府保育園保護者会長・大磯中学校PTA会長
神奈川県PTA連絡協議会理事
6児の父、妻と「たらこや英語教育リングエド」を営む。

町議会に新しい視点と感性を、37歳の挑戦です。

「これからの大磯の町づくりを私たち子育て世代も担いたい。」
「私たちの住む町は、私たちが決める。」というのが住民自治の基本です。「様々な視点や立場の声を代弁」するために、幅広い世代の議員によって町議会が構成されるべきですが、現在の大磯町議会には現役子育て世代の議員がおりません。
私は昨年度まで2年間、大磯中学校のPTA会長として中学校給食の問題に携わった中で、教育現場や行政の力量だけではいかんともしがたい町政の壁にぶち当たり若い世代の議員も必要であると痛感しました。町政が取り組むべき課題は山積していますが、どの課題に対しても、真剣に取り組み、相談しやすい身近な議員を目指してまいります。



吉川 さとし

無所属

さらに住みやすいまちづくりのために 2nd Stage

議員力を高め、一步一步着実にすすめます

- 地域経済活性化のために 明治記念大磯庭園・港オアシスの早期整備を図ります。
- 農業を守る 鳥獣対策(特にイノシシ)の強化
- 災害に強いまちづくり 自主防災会及び防災資機材の充実を図る
- 高齢者福祉 人生100年時代を迎え、地域コミュニティの強化
- 教育・子育て 子どもたちを地域で見守るシステムづくり



せいた文雄

無所属

五虫志保実が大事にすること

- 庶民感覚を大切に** いち生活者として暮らしているから気付く問題も多い。町の政治は町民の暮らしを支えるためのもの。同じ目線で考えたい。
- できることをやる** できることをまず考える。ベストでなくても今よりベターを考える。考えれば必ず答えが見つかると思う。少しでも可能性があれば、あきらめずに頑張る。
- 小さな声を逃さない** 小さな声に耳を傾ける。小さな子供からお年寄りまで、すべての世代の声をまちづくりに役立てる。住民を置いてけぼりにしない。



玉虫志保実

無所属

【プロフィール】
1959年大磯生まれ(59歳)。大磯幼稚園、大磯小、大磯中、平塚江南高校、東京芸術大学(美術学部)卒業。スタジオオヘチョック営業。2015年町議初当選。2018年町長選チャレンジ。同居の家族は夫と父(90歳)。



ママチャリ目線で行政をチェック!!

皆さまの声を力に粘り強く、大磯町の課題に取り組みます!

誰もがしあわせを感じる 大磯くらしをつくる

● 中学給食施設・来年度までに完成推進 ● 中学生らしい制服通学に戻そう(制服代半額補助) ● 特別支援学級の子供達、もっと成長出来る! 教員補充 ● 高すぎる介護保険料引き下げ/火葬料無料 ● 大磯駅前整備の車道縮小反対(混雑事故・危険増す) ● 万台こゆるぎの森土地賃料大幅値下げ提供問題徹底調査 ● 大磯港⇄伊豆大島定期船航路推進 ● 現町政ではダメ町長選挙早期実現
経歴/1963年、熊本県天草市生まれ/A型/家庭事情で高校から大学院卒業まで働きながら学費・生活費すべて工面する苦学生であった/東京港区赤坂から大磯町へ在住5年目/家族構成、妻・9歳・7歳・5歳
● 北九州市立大学大学院法学研究科修了(地方自治法及び市町村合併研究) 慶應大学大学院商学研究科研究終了元参議院議員(JA 熊本五連会会長)秘書/現衆議院議員佐藤ゆかり元政策担当秘書/中学・高校社会科教員・中学特別支援学級教員/現、中国公立理工大客員教授(財政学・都市政策)/経済記者(週刊文春・新潮社等)記事執筆歴他
今の町政は利権政治そのもの。汚すぎます。
国会議員政策担当秘書の力量と大学で財政学と都市政策を教授してきた経験を活かし、改革し、「幸せ実感できる町」づくりに尽力いたします。
● 泥臭い町政に風穴! 国政レベルで徹底監視と迫り!
● 議員報酬見直し検討 ● 公約違反! 町長・副町長・教育長報酬5割減額に戻させます ● 教育委員会改革し独立組織に ● 副町長職・教育長職廃止 ● 役場効率化運営へ職員35人削減(十分運営可能) ● 高い残業代血税! 職員原則3時間以上の残業禁止 ● 職員お手盛り手当見直し・持ち家住居手当即廃止、退職金引き下げ他手当 ● 若い世代の移住・定住促進へ子育て支援策(先行投資) ① 出産育児一時金現42万円を60万円まで引上げ補助 ② 保育園待機児即解消 ③ 中学校卒業まで医療費完全無料 ④ 小・中学校給食費無料 ⑤ 中学校放課後を活用した外部講師による英教補習教室実施 ⑥ 小学校放課後子ども教室は月～金まで毎日実施



野中 こういち

選挙公報

地方創生!「住みよいまちNo.1大磯」へ! 健康・長寿!

実現しました!

- 小・中学校すべての普通教室と大磯幼稚園にエアコン設置
- 小学校6年生までの医療費無料化
- 幼児教育、保育の無償化10月から開始
- 中学校給食、自校式に決定、食物アレルギー対応のマニュアル作成
- 電子母子手帳アプリ「母子モ」を導入
身長・体重入力で予防接種、健診日を通知
- 小児がん早期発見に検診チェック項目を追加
- 防災減災対策・緊急輸送路の空洞化調査実施
- 地域包括ケアシステム「通いの場」を推進
- 認知症早期発見の簡易チェックサイト開設
早期対応に、認知症ケアパス、認知症カフェ実施
- コミュニティスクールの導入

めざします!

- 災害時に避難所になる体育館にエアコン設置
- 中学3年生まで医療費無料化
- SNSを活用した相談体制の強化、教育研究所の相談所の充実
- 防災力の強化、災害弱者支援の充実、防災リーダー、ボランティアの養成
- SDGs(国連が提唱し、国や自治体が行い取り組むべき持続可能な開発目標)の達成を支え、大磯町の安心・安全・幸福を実現します。

二宮かずこ プロフィール

- 1960年7月 東京生まれ
- 1981年3月 東京女子体育短期大学 児童教育学科卒業
- 2011年6月 大磯町議会議員選挙当選(現2期)
- 家族構成: 夫、1女
- 趣味: 体操、生け花、音楽鑑賞
- 党 役 職: 公明党大磯支部副支部長



にのみや
二宮かずこ
公明党公認

大磯を元気に!

- ① 生涯現役、大磯町を健康寿命日本一に!
●食生活・生活習慣の改善(町内インフラを活用した)適度な運動、認知症予防
●75歳位まで働ける雇用の創出

- ③ 大磯の風土に合った産業の創出
●農水産業の基盤を整備し、新たな担い手の育成、6次産業化の推進
●害獣(イノシシ、ハクビシン)駆除、耕作放棄地の有効活用等で農地利用を促進
●優遇税制を活用した企業誘致の促進

- ② 安心して子育てできる街づくりの推進
大磯町は平成29年度の県内市町村別合計特殊出生率が2位! また、平成28~30年度は0~4歳児人口が年々増加しています。
●「子育て支援総合センター」の機能をさらに充実・強化
●待機児童0に向けた取り組みの推進

- ④ 大磯の文化・歴史をPR
●大磯は明治維新の元勳達が住んだ街。近代日本発展の意義を再確認し、観光資源として活用。NHK大河ドラマのロケを提案
●大磯伝統の祭祀を守り、育み、若い世代に継承

プロフィール
1974年5月29日生まれ 45歳
1986年に亡き父が大磯に憧れ移住
大磯町立大磯中学校、私立藤嶺学園沼沼女子高等学校、共立女子短期大学生活科学専修卒
職歴: 有料老人ホームグリーンズ片塩 介護予防デイサービス生活相談員
資格: 介護福祉士、不登校児支援スクール「ネバーマインド」相談員
趣味: ワクレシ、パレーボール
(高校時代はエースアタッカー、副キャプテンとして活躍)
好きな言葉: 和顔愛語
尊敬する人: 吉田松陰、伊藤博文、安田善次郎
好きな本: 「人を愛し、人を生かし、人を許せ」

- ⑥ 教育環境の充実
●集団登校の再開、通学路の安全確保
●読書の習慣を身につける環境づくりの推進
●いじめ・不登校・児童虐待の予防、防止
→自己肯定感や自尊心を高める教育の推進

- ⑧ 安全・安心の街づくり
●街路灯、防犯カメラ、カーブミラーの効果的な設置を再検討
●難聴地域に対応した防災ラジオの導入
●高齢者・要支援者等に配慮した防災計画の見直しを提案

- ⑦ 交通・流通の改善
●コミュニティバスの拡充等による交通不便地域の解消
●駅前改修工事の反対及び見直し、生活道路の整備、安全確保の徹底



しおばら
塩沢しずか
幸福実現党
(45歳)

誰もが住みたくなる町づくり やる気と対話で大磯を変える

私の歩み

一九五二年 広島県生まれ。横浜国立大学経営学部卒業後、昭和石油(株)に入社。
企業合併後の昭和シェル石油(株)でSCEエネルギー(株)を設立し企業のトップとして経営にあたる。
東町町内会役員五年

- 一、町民の声を聞き、理解を深め、町政を推進したい。
・子供や孫に借金を増やさない大磯町にしたい。
・町民が納得できる税金の使い方を推進したい。
- 二、だれもが安心して、誇れる町づくりに努めたい。
・住みたくなる綺麗な大磯町にしたい。
- 三、「長きもの」の継続と推進、「悪しきもの」の改善
・人にやさしい、子供も高齢者も安心して暮らせる大磯町にしたい。
- 四、町民参加型の町政運営を目指したい。
・町民の声が届く開かれた大磯町にしたい。
- 五、議論し尽くされる開かれた議会を目指したい。
・町からの提案がいつも通る議会ではなく、町民にわかりやすい議会にしたい。



石川のりお
無所属

選ばれる大磯を目指して
大磯町は15歳から64歳までの生産年齢人口の減少に伴い、町民税(個人分)は、2009年の約25億円から、2060年には半分以下の12.4億円になるものと推計され、人口減少社会の到来が大磯町にも見えてきました。そして、大規模な工場などの産業基盤が無い町では、人口減少は財政状況を大きく左右する命題となつていきます。
しかし、大磯町には美しい海や豊かな緑、歴史や文化をはじめとした、人々を魅了する地域資源が豊富に存在し、新しいひとの流れを築く大きな力を秘めています。
この地域資源の豊富な大磯町に「定住人口の安定化」を図るには、器となるまちづくりがとても重要になってきます。そこで「経済・財政・子ども・福祉」の総合戦略を注視し、安心安全なまちづくりに向けて努力を積み重ね、住んでいる人々が「この町に住んでよかった」と、そして大磯町と選ばれる大磯町を目指してまいります。



高橋ひびく
無所属

投票日

6月30日(日)

投票時間

午前7時から午後8時まで